

都道府県名：滋賀県	市町村名：栗東市
1. 活動名：桃源郷プロジェクト	
2. 取組の背景、目的： <ul style="list-style-type: none"> ① 竹林の放置による里山の荒廃、景観の悪化 ② 青少年が里山で遊ぶ機会が少なくなった。 この二点の現況を改善すべく、竹材の切りだし体験や自然体験学習をしながら里山保全活動をすすめている。	
3. 実施主体 任意団体 レッツ栗東	
4. 取組の概要 里山の保全と森林資源の循環利用の取り組みを展開している。また、そのための活動場所を山林中に整備し、それらを自然体験学習の場として訪問者に提供している。 一方、竹細工教室を定期的に行い、その指導者の育成を図りながら地域の活性化、青少年の健全育成、子ども達から大人までの生きがいつくりにも貢献できればと考えている。	
5. 支援事業 みんなで始めよう森づくり活動公募事業	
6. 取組等についての成果や課題 現在5～6名の竹細工リーダーが育成でき、更に周辺市町でのイベントに竹細工の展示などを通して参画し、活動をアピールできるようになった。また、メディアにも注目していただき、琵琶湖放送のテレビやFM草津に出演し、京都新聞などの取材を受けている。さらに、滋賀県のホームページ閲覧者からの事業支援依頼も来るようになった。 ただ、今後の課題として、里山環境保全や学校環境整備の支援をしながら、出てくる廃棄物の処理方法に苦慮することがあり、今後行政の協力を得たい。	



写真の説明欄

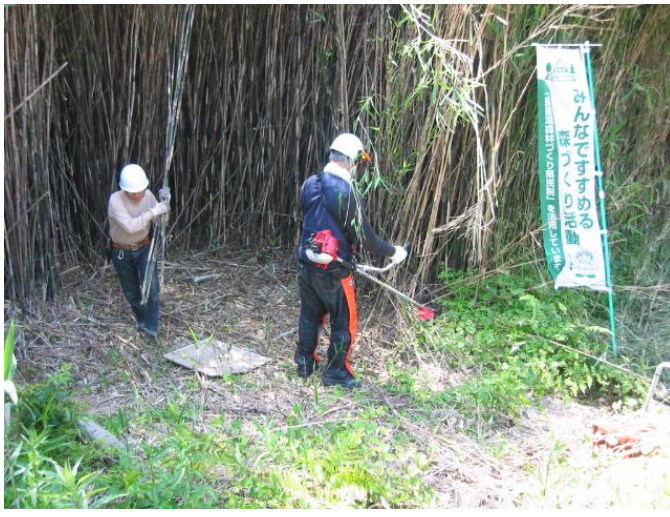
出前講座で草津市内の市民センターに出かけて竹材料や道具(竹鋸、ナタ、ハンマー、切りだしナイフ)を持ち込み、竹細工の体験指導を行いました。竹細工の作品は主に竹ペンたてと花筒、プランターなどです。参加者全員が少なくとも一点以上の作品を製作します。



竹細工に描画したペンたての作品を手にする子ども。ペンたてにチャレンジした子どもたちは全員描画をし、名前を書いて持ち帰ります。



市内の学童保育所で、里山に出かけ竹材を切り出し、コップやお箸、弁当箱、お皿を作り、その後、保育所に帰って食事をする子どもたち。自分で作ったものは持ち帰り、家庭でもそれを使ってパン食をやめ、米飯とお味噌汁にした子どももいるとの報告もありました。



里山の景観保全のために、放置されて繁茂した篠竹を伐採しました。伐採後束ねて空き地に積み上げますが、その後の処理をどうするかが課題です。



桃源郷での里山自然体験に訪れた子どもたちが篠竹を伐採し、自分達の基地づくりに挑戦しました。1時間程で作り上げ、その中で昼食をいただきました。子どもたちが調理した具材を用いて、飯ごうを使って味噌汁づくりを行いました。



篠竹を使った槍投げに取り組んでいます。ルールは、数メートル離れた所にある輪に槍を通すというシンプルな遊びですが、子供達には人気があります。



ほぼ垂直に立てられた急なハシゴを使ってツリーハウスに登るのも、子ども達にとっては楽しい冒険のひとつ。始めは怯えていた子ども達も、慣れてくると、上がったたり下ったりして遊んでいます。



周辺自治会と合同で、お正月用竹花器を製作しました。近隣の竹林から竹材を切りだし、お正月用の花器やプランターを作る行事が定着してきました。



小学校2年生とその父兄が参加し、篠竹による基地作りに取り組みました。短時間に完成することが可能で、今後は大きなイベントのブースなどの施設に利用してもいいのではないかと考えています。